脱退當時の松岡全權

250 としま成だ会に引播が過のため重要注案を駆げ

会は終了もた、迷府は重要送案鬼 るに至ったためてある、かくて護 のに至ったためである、かくて護 のになったかである。からて護 のは、組閣以來の凝整性を暴露し

留日警官出發

内閣微力明瞭

あめりか丸船客(二十

若宮政友幹事長

『東京二十六日袰國通』議會の成 内閣全體の 議會を閉ぢて

右については農・までは難かしいだらうと見てゐる。後始末方法は、は餘程の敗海を行はずには來議會世間の非難も已。を缺いたのがこの原因だ、現內閣

弱體内閣の 部子の観測

報母木民政總務

◆立川俊三郎氏へ都奉天警察書長〉
二十六日出帆うらる丸を雕連
一乗茂太郎氏(東北帝大藤師)
同上
◆ 内田直七氏(趙嘉納合名大連支
た長)同上
◆ 関山民平氏(大連音樂學校々長)
同上の地(
・ 大連繁競長)同上
・ 世田太郎氏(大連繁競長)同上
・ 世紀大郎氏(大連繁競長)同上
・ 世紀大郎氏(大連繁競長)同上 學旅行團一行六十七

農林案總潰れに

苦境に立っ農相

進退を鐵相に

不即氏(步兵中佐、連山 深郎氏(歩兵中佐、連山 派議員)二十六日午前十一 派議員)二十六日午前十一 派議員)二十六日午前十一 派議員)二十六日午前十一 派議員)二十六日午前十一時安東

世界に出づるこでを極力能とすべく | 新農和) は著述しての田崎農林は大いに苦 球形も重要が表いてあるが、監様は二十五日の 様の引戴を極力能とするので、監督 でいてあるが、監様は二十五日の 様の引戴を極力能とするので、監督 いってもれる。とかと監様は山崎監督 ればならの懐黙は兼振されないが、農村 でいるのでをの政策施設に動揺したと解 いばならの懐黙は兼振されないが、農村 でいるのでを表示している。

「「「「「「「「「「「「」」」」

「「「」」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「「」

「」

「「」

「」

「「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「」

「

「」

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

二十六日午前九時發あじ
即中將(帝國在郷軍人會

管法案の標識れに對する當個の資

際に出づること

議會閉院式

けさ貴族院にて行はる

ば、その神郷の程も難はれる。紫い込んだ自分の繋が吹かれ、

振りな要節した。 延見するかと思けれた議會が無 延見するかと思けれた議會が無

「毎子さん。わたしな誤解しちや 明子の顔は少し蒼白かった。

にちやない。世の中の識

が、急に死んで行つてしまった。

愛戀十字街四 松北 淺 原 六 朗

四月新譜

八時二十分大連准外着豫定

橋本八百二繪

現實と花の

青棚さんに塗ったら、あなたのこ

横行間、B面は名のまからでしるを把握する 東海林太郎・小澤 寿夫

東海の類役、凍海林本部

不海の額役(映画)

鈴木光太郎

で観子さん。わたしの理在はそんが明子さん。わたしなの理なはそん。 おかげで、あたしてつかり無視されてしまつた」

木村岳風

清洲國々歌行進曲 吹 東田 良三 本迎歌 日本ポリドール 東田 良三 滿洲國々歌行進曲・井本米リドーへ東海林太郎

からまる。国 國境。町 大当^流行唄 東海林六郎

製品・一度のに高りである、以上の事情は著ることが、最後能態度を表明せればならの立場さなり、 滿身創痍 軍部、學說問題で 現内閣に望みを斷 の岡田内閣 議會遽に閉幕の事情

五月に入

b

政變豫想

東京特電二十六日發』今期議會 かる機能を流じ重要混彩十一性を かる機能を流じ重要混彩十一性を が低に供して僅かに十年度像繁築 が低にはして値かに十年度像繁築 **命脈持續漸く疑問となる**

親され、更に内閣監論館に遊友館 くて間田首相は浦洲園皇帝陛下御 の観測が暮らであるなってのあのて、その成行は重大 扇の心袋は密加するであらうか 衆に重大遊紋が惹むなってあるので、その成行は重大 扇の心袋は密加するであらうが、南泉が は経々震摩さなり、跋暦は何等か あるなどの鵬像より跋形は るであらうが、南泉が脱れす、殊に憲送警説熊蝎の無勢 は委員を送らざることを決議して 来朝の陰に陰れて常

民政黨も失望 **黨出身閣僚引揚論擡頭** を できることを決議して 本朝の陰に陰れて當分命順を置けて なるなどの關係より恐怖は るであらうが、満身態長の内閣を るであらうが、満身態長の内閣を

高全後の歌扇に果してよく耐へ得 に窓なく悲惨な結末を告げたので が解がが変がりで変むも多事多端なる。 る るかどうかを危ぶみ何等か人心一 を さして球形を支持する熟意を配次 失つて来たこさは注目すべく一部 大つて来たこさは注目すべく一部

られる、政府は内閣書議會を変現 月に入らば海軍會議の問題と超る 月に入らば海軍會議の問題と超る がら政機の誹謗は発れのものさみ 変は一層加はつて来た、近く滿洲

分に氣化へてゐる

内閣に見切りをつけび變搭來を多 内閣に見切りをつけび變搭來を多 がら、歌栗、、紫栗さもに最早現 あるから、歌栗、紫栗さもに最早現 あるから、歌田で押と通す意向なるも では、憲法學談問題を何こか態をつ

の様々でる概語は 変座に同い最近 変形、窓田、塔野県 の様々でる概語は 変形、窓田、塔野県 語書を拝受し、総 さ述べ諸 員職

動震の後横溝書記官 岡田首根は森 しく が、極原正歌議長端 議會經過奏上

錯覺といふ

た脳板のやうにくつきりを映つてれが耐ふの総に、大理石で雑まれ

な職は、たうてい信じられない

公言萬

きてゐる悪滅か深山ゐるやうな氣 の。世の中には、人を陥いれたり

下図しくれ東海林

港G志明安奏

日本の孤立不安解消

滿洲國は健全に發達

富時の全権

松岡洋右氏の感

明した、卽ち世界平和を眞に死ヶ所において次の如き意見を表である、私は歸途米國の二、三

に怒った?いやよ。これあたもの

ところにふれ

つちゃ、静棚さんのここなどで、

がする。その人たちよりも、父ができに死ないければならないなんときに死ないければならないなんとは無ななべだつて嘘ばれるにちがひないわれ。それは解ってゐながら、此頃はそんなこさば

生誕二百五十年記念樂聖バツハ

つて大バツハの藝術を服現せる名レコードで響きが、メリハルミフルトヴエングラーの指揮を含むの最色の美妙、演奏の卓越せる世界一

あす聯盟脱退の効力發生

重大な意義があると信ず 「ちゃ、何んにも云はないこさに れるさ、やつばし織いわし

血はせめて歐

平和機構の間に出來るだ

リントゲン科 新陳代謝病 科は 本語科科

R・シュトラウスの名歌 ドゲルルの思心

スシール海県

亡き幼兒等を偲ぶ歌

幼児等を偲ぶ歌 パットン湾電 近代音樂の雅見マーラーの名作

子供の不思議な角笛」より

シュルスヌス

れっかし考へてゐたのよ」 はやつばし、あたしよりも十個も はやつばし、あたしよりも十個も は一般的自れ。報があんたから繁女帳 がまなな云ったけれざ、そ はば質かも知れないのれ」 様子はばじめこちがつて、しみ でみさした 領持にさせられてゐ

でくなりになったばつかしていけでくなりになったばつからでからない。お父さんおののきて下さらない。お父さんお

以目して語る松岡氏の談論は一段

ないさ想つたけれど、あたしあん たには是非きて取きたいのよ」 だけ御働ひしてよ」 だけ御働ひしてよ」

神教 カラクミ 「ボレロ」ミュモット情報を 一貫田 アインナの人 本」 パラへ信辞報 一貫田 アインナの人 本」 パラへ信辞報 一貫田 アインナの人 本」 パラへ信辞報 本、お、お、お馬をお構りなし お、お、お、お馬をお構りなし

號六百四萬一第

称を離れるご數町にして蛤の ◇…旅大裏街道營城子、或

岸は褐色の破縄く帯を延

十五日午後八時半頃山縣遜五十七」し敷島町方蔵に遊走した、大連書作の山縣遜に物職な辻强盗――二一に挟んで居たハンドメツグを職奪

郵便局は物騒

疲れた脚な水邊に止め

市内裏地須町八六松雕方郷田トコテさんは二十五日午前十時頃常盤子さんは二十五日午前十時頃常盤 ボケットから貯金通帳で現金八 千坂町郵便所の窓口で用談中、洋版

遼東百貨店にて

界をリードする

記念の爲め

卅一日ま

全部:半額で大處分

最寄蓄音器店に全部取揃へて御座います

水海の顔役

スリに遭ふ 窓口で用談中 雙大溝海岸

短刀を突付け

ハンドバッグを强奪

宵の山縣通りに辻强盗

(阿露斯便里種三集)

御心身の御鍛錬に

側近者

同は野しく感激し

御栗馬姿を拜し或はテニスコ

出場の選手離連

滿洲國體聯一行四十名

を握らせられ

御餘念なき皇帝陛下

日

ての派州國皇帝陛下の御訪問

あるが、浅れ東るに皇帝陛下 慌たいしさせはしさな場

御編別宴を施し一路御平安を御送別宴を施し一路御平安を御送別宴を施し一路御平安を御送の御訪日記念

名は久保田完三

に御訪日を前に御心身

一週間を除すの

の御殿練に御除念なく早朝よ

八時養殖車で來連、直にうらる督)四氏引率の下に二十六日午

恐喝

八 男

日まで屋ケ浦馬場で銀行される電は來る四月二十七日から五月 連続馬俱樂部主催昭和十年度競

入連競馬

四月廿七日から

宮内府の繁忙

御訪日を控へ

場より潮洲圏皇帝陛下櫻兵式 した四月九日(全日藤)代々木練

一十九日佐世保を 一横洲國皇帝陛下が御召艦比叡に 一橋中将の率ゐる聯合艦隊旗艦山 一城を 一城を **先頭** に第一、八、一水書、一 日滿交歡競技へ

一先づ奏明十一番地の自宅に安置し、執行、代表者の焼酎を総り遺骸は

濃紺竪縞地が着きました

ハウスミードとガニヤー兩社のウーステッドとフラノ地

たび入荷致しました。織の組いもの、縄いもの、地色の落付いたもの、明朝なもの、 昨秋以來非常な御所望に摘らず、生地皆無さなつて居りました濃細竪織物が弊店に此

是非一座御清覧下さいませっなるべくお早

部大臣その他の

單縦陣張っ

て北進

聯合艦隊の皇帝奉迎

登舷禮を行ひ皇禮砲を發射

御幣長組機機型に神営養皮塩よーな成送、徐に大連御警察の際は大 り女生生二萬人の奉辿日浦屋敷 かカンサーは大連成送局の平島、 作して四月二日皇帝陛下の新京艦 御婆窓より奉天湘通過大連艦御搬 御婆窓より奉天湘通過大連艦御搬 御上陸より東京艦御養並に戦雨奉 大連窓御警察に際しては金海は勿 源の御機様等手に取ることく全日 流のここ金日本内地に對して管波 源の御機様等手に取ることく全日

能夫氏が大阪で際

よあすから電々會社が

大放送開始

訪日に集中

佐久間艇長の

殉職した部下

慰霊の旅

けさ雌連す

わすれ遺兒

池谷照子夫人内地へ

郷里福井へ墓参の爲出發

した佐久間動大 ひ二十六日出戦のうらる丸で輸省に動脈的不朽の め夫君さ共に愛見湯一君へしな作

私はこちらへ来て以來ズッと郷 メラに収まつた服子夫人は融る

吉留氏の遺骸

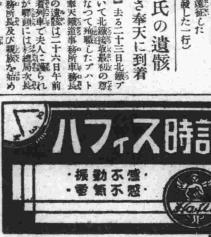




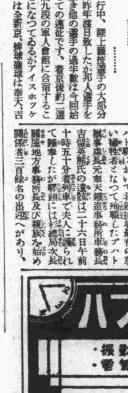














密輸常智者をれらつて恐場を働くして居た事態 大連署高等保持務で司法刑事の 憲兵隊では陸軍歩 東軍機託さ 千圓を捲き上げて檢學 版兵隊の撤撃以前 (職々この事性の

では仕事が完全に行つたら干

大タクと電車二十六日

さの言質を握り以後三回に取って 五日午後零時半 前記 瞬名に難じ一千回の

逮捕され目下柏菅警部補係りで恐 輪事件を捜査中探知し司法事性さ

武裝移民團 實狀講演會 各地温度(廿六日)

大連、滿日 における機械の放職によるもので職感宗形整 通した、原歴は内地側名輸送信所職を影覧と通さなり二十六日早帳離く後餐院

廿八日社員俱樂部で

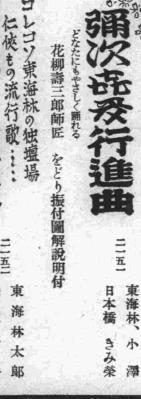
(日七十二) 晴風の西南





一明朗を我がおどり流行歌

五五 日本橋 東海林、









はれてゐる一切概を変要は五ケ月 の ふつうの人間の様力では五年か かつても鎌底膜みつくせないさい かっても残底膜みつくせないさい

な百パーセン

の展開は良きシナリオを得てハサ

「実験等へ行ってまるる」

の離からは、発動が立ちのぼつて、投を搬職し、彼な情感する者のは、ない。その膨悪な大勢が進かに多い。その膨悪な大勢

奈良へ行つた。雲

も見す、月も何がす、一種の短火 大蔵の暗脳にはいつた観繁は、日 ちにあつた。許しなうけて、その ちにあった。許しなうけて、その

(可認物便報種三鄉)

村川

花 治

所名しなった純ない

は英字でも印刷と配布する密で の一日」を能すがドイツ語の物らの一日」を能すがドイツ語の物らのでな考慮して凝糖の内容

熱烈なる御待望の

吾等が生んだ世界的名優

々實現いたでまで、
素烈なる御待望の的さなつてゐた雪洲の來激が愈苦等が生んだ世界的の名優早川雪洲・

して完璧して

ア・デリー・ニュース記主催の下二十九日午前九時よりマンチュリ

大連には珍しいドイツ製配が来る

一十九日公演

名物かし〇の水だき」

(163)

珍らし

ドイツ劇

その爲か、 範裳のそばに付いて、見張つは自分の使命であるかのやう

いものの力がこぞつてそれ へ 演奏をおつくけになることは火 うなものださ私は思ひますが」 りなものださ私は思ひますが」 こ云ふのみで、彼を叱つて説代、 た太夫居費明が、範裳の身を守る だく嫌れた眼さ、陽にあたいで遭んだのだ、そして充ってでしたのだ、そして充ってはある きすさぶ態気七年の単なになって もつて、大蔵の間から彼がこの

の如し、大戦情楽中の娘女樂二日日番組左 館の段▲一の谷熊谷陣屋の段▲ボ藻前道春 関目記信屋の段▲玉漢前道春御所櫻二段目辨慶上使の段▲玉臣殿本巌下邸の段へカケ合ン 1目の番組

愛國と友情の物語 部及び演劇関係者側で ら数質される等である 一十九月はヤマトホテルの入口で

女優軍數十名來演 クメット、アプダラ原作ウイット、ペラスコ原作

ガベンル

の槍騎兵

バラマウント特作

四月三日(秦甲)六日(土曜) 経對日延なる

日迄(端三歲五

と非御常備下さい と は と は は ないでの方は と は し で で の ま む し で で の 方は と か に ないでの 方は

聲記錄映畵

書映演主・ねかあ野久・輔之純山葉

キャストは友情で愛國の二道に生

生態類を変して (シスニル語) 大連市信濃町で 家本店

今週畫夜二回只今公開中

1.1.

*無曉の

偵察懒

ソチャード・クロムウエル リチャード・クロムウエル リチャード・クロムウエル

2日ヘンリイ・ハサウエイ監督

週は!

曲佐々紅華

神経痛の方に

配街四丁目 大黒屋裏

サハ日

Nd

パラマウント本年最大の巨篇!御期待あれ!!東京日本劇場と同時に――日本最初の封切!

街

博士 ||

小兒科

電3-1401番

のむ人

能ある騰

頭が好える脱がる

四日より

エチナ オピア

る五本立番組

露發性男の義仁スロドマく描に町港・演快人秀サフヤハ テイコクカン・ 長大河內傳次郎主演 冬木心中 カフ

廿六・廿七日限り 點帝國館

す ユケ どらん香水 主止

がらん 本。

品

営々として築く大パラマウント社が

五ヶ年の大理想、

遂に完成の凱歌擧る!!

活館

五星霜、沈滯の映

五星霜、沈滯の映畵史上に再び威澈 世界の非常時に――今ぞ咲き誇る軍

奉,春

内地心屋の整理品

子供

婦人スエーダ・花光ショール 春の帽子・・・・新着 滋 賀

THE PARTIES 電三・二八五八番

連維柳本吳服店

三十一日まで

THE PROPERTY

Town !

NUMBER OF

最人氣商品 西陣御召・訪 問 着・半コート地・

今春流行の優秀品を○○○より安く

春吳服特選品大賣出

大連·浪速町

になるので、性着療は肺の一身をそして概要の豚りはいつも液象を

概むやうに云った。

どうか、はやく御講義を切りあ

講義が大事か、お簡が大事か、 往生要集の解をあたらしく始い観察はうなづいたが、やがて、

(三)

**ール・ムニが総構に活取してゐる、 てるる、愉快なジャーナリスト映画

るさ云ふのである、

で結論さらて話頭に上るのは良き シナリを得たハサウエイの歌曲た 多葉と振りこクーパーごトーンの なま、最後に大衆フアンにはメロ アファンにはメロ 日活の動完監督はかれてより鑑定大事前十一時、観立事務所起の内までル三際三〇九課室で報立を宣記では、順ち機位離日の離井買、大した、順ち機位離日の離井買、大した、順ち機位離日の離井買、大 滕井、大日方 蒲田脫退聲明 重示監督と獨立プロ がンワ・ーバムナのアビムロコ

四月三日まで

新流行の春百貨、 春の小紋が

●春の小紅着尺大賣出し春のパラリル 盆・五〇大賣出し春のパラリル 盆・五〇大賣出し春のパラリル 盆・五〇大賣出し 大賣出し

實用ハンドバッグ 着 尺 か 紋 着 尺

親劇券は弊店にて特別奉仕提供、同倉員には洩なく雪州のお土産の場外、別報に合合では、日本の大学、(一百名様説りの品等電影)早川雪洲來演!(四月三日より大連網提) -00000 SESETS

線爛ごして全館全賣場に咲出てました

春のお装ひ、御仕度は幾久屋から

関の増加さなつてゐる、それな百 展において結局七千七百六十七萬 展において結局七千七百六十七萬 場において結局七千七百六十七萬

中旬在貨

【新京電話】新京銀道事務所管内

依然、建設景氣で

超を續

の大衆・経験質力の増進な意味するころの生は 一部イものであり、決して満人眠は に基くものであり、決して満人眠ば に基くものであり、決して満人眠ば

の外國電影統計日報: いま滿洲國財政部 の場態な意味する

傳統的出超も過去の夢

滿洲國貿易檢討

反消運動を强化

画體が

新京で臨時總會開催

同上が樹九・一〇、無検車物八瀬州米無検特等権順九・二〇、調解・一等に川九・二〇、

無いである。 「他性である」 「各四十三瓩一 「他性である」 「各四十三瓩一 「他性である」 「各四十三瓩一 鮮米輸入に牽制されて

白米小賣値下る

朝窒硫安の

はまだ後のことである はまだ後のことである はまだ後のことである

本小 豆十五萬八千睡、高梁五萬五千睡 『京城後』 郭総察素にては先般器 もの 「大豆 高梁 玉蜀素 楽 「工事中であるが本年十月中には 新 京志 「元三、大豆 高梁 玉蜀黍 楽 大豆 高梁 玉蜀黍 楽 大豆 高梁 玉蜀黍 楽 下工事中であるが本年十月中には 新 京志 「元三、大豆 高梁 玉蜀黍 楽 「工事中であるが本年十月中には 新 京志 「元三、大豆 「元三」を 部完成の模様である

增設完成期 電響 国際総替戦を前哨さする世界常制 より同様これに追従すべくまたス 監護 あり、金本位置的では、 (中れて マル アロックの解説の可能性に観になる。 (中れて マル アロックの解説の可能性に観になるが、 (中れて マル アロックの解説の可能性に観になるが、 (中れて アロックの解説の可能性に観になる。 (中れて アロックの成別の形式を表して (中れて アロックの (中れて アロックの (中れて アロックの形式を表して (中れて アロック (中れて アロックの形式を表して (中れて アロックを表して (中れて アロックの形式を表して (中れて アロックを表して (中れて アロックを表して (中れて アロックの表して (中れて アロックを表して (中れて アロックの (中れて アロックを表して (中れて アロックの (中れて アロックの (中れて アロックを表して (中れて アロックの) (中れて アロッ

鈔票俄に昻騰す 目先はなほ波瀾商狀

大き様に関する。 五銭方大上遊れで百三十六個四十一金を辿り、四月十三日陽新市へ 一途を辿り、四月十三日陽新市へ 一途を辿り、四月十三日陽新市へ 配置する。 ででする。 でですでする。 ででする。

大連汽船總會 大連汽船 戦極上 が表め、低期浦了の八木、大瀬縣 では来る三十日午前十一時より同 戦を決策を附護承認

日本さいひ、支那さいひ、隣

げ、ことに漸洲國の貿易構成は加に比較し十一割五分方の急螂を告に比較し十一割五分方の急螂を告 五、夫六干擔

米及初 150百千擅 45票

○神戸屋株式店 五五、〇〇〇枚 前月別 定期喰合高

銀塊棒立ち 鈔票急 上級公印演 人人七車

蜀黍粱

西 中 ンテ西中

會

葬御禮

御幡

秋

彦

伊勢屋









爲替管理利かず ガ貨崩落す

大阪期米 前場等前場引 服 約0% 100% 服 50% 500% 50% 500%

大連卸相場冊

, (四)

申告は

口頭にする

好績滿商出張販賣

比律賓にも

温外銀塊は

紐育六十仙示現

銀塊及爲替 倫敦銀塊 三片分 局 先物 三片分 紀青銀塊 ○仙の分

ではり注視の的さなつてゐる

市場

H

取引改善策で大連取引所から通達

組合側は委員會で協議

資金の大陸逃避で磅は强調昻騰す 歐洲金本位崩壊迫る 監査役の改選を行ふ答

市

虚が必要である。 虚が必要である。

令定期前場<

電値安値大

等替相疵 犬留比(分と) 新面積 三留比(分と) 級新直積三留比(分と)

大豆低芸銀高ご賣物に

高率運賃の是正によって最も する流しない

の郷奥さ北浦嶽線の鉱来に監解 買力の増加で見做すこさが出來語を換へて言へば消極的には騰

主

林式后

◆…真の騰買力は多数農民の生産 院の考慮が必要だ。 との考慮が必要だ。

洲の球扇不安が解消されぬ限り…しかもドイツを中心でする歐

◆現物前場(銀建)

◆現物前場(銀建)

一型型(田來不申

大豆(架物 一型型)

大豆(果物 一型型)

大豆(果物 一型型)

大豆(果物 一型型)

大豆(果物 一型型)

大豆(果物 一型型)

出來高 三萬枚

豆 油 一四四)

田來高 三萬枚

豆 油 一四四)

田來高 三百枚

三、八〇枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚枚

高壓症

閑散見送る

精近 削的

女 0 サブイ 俊 タ 人 降一 曹ラ イ 子根 油油油干子キ紙炭豆 查 廉賣

9有豊賣望 御照會 富買糕 債 益 券 云公 八正 公司

(ラツ遠近不問) 並二 金融 高價買入

連大 日 活

を 本八百舎北道家 本八百舎北道家 本八百舎北道家 五日 本五日銀行 五日 第一十五日 銀行 こり おんします **廿日公開・毎日書夜車續入れかえな** 祭日。日曜は午前九時閉映

越屋商店

□ ユース 1.40 6.05 □本刀土俵入 1.50 6.15 漫画トーキー 8.15 7.40 春江の結婚 11.00 3.25 7.50 □本スド 12.30 4.55 9.20

天井紙・壁紙・ 光輝緑・ヘリ紙

0 徽花造 章環花 0一九三·二電·角場広西里汪近連大

聯盟脫退の完成

日

满药

岩

哈新部隊長

統治問題

地位愈々安固

作に關し 重要進言

になり二十七日離京一先づ歸奉のの結果。同少縣は軍司会官の命によ 土肥原少將、

近日東上

那を善導

離脱後の我外交具體策

將來を達觀努力

せよ

杯對滿事務局總裁談

第一版賣切

良好關

日満露人歡迎裡に着任

京高師教授 円 中 京高師教授 田 中 京会理大教授 田 中

稻葉少將赴任

著事堂と三一人九一人九一人

容説明書

大特價處發賣驟 第二版出來!!

六日帝國議會開院式に賜りた『東京二十六日養國通』二十

なる勅語左の如し

水議院ノ各員

閉院式勅語

御慰勞の酒饌

なる連繫を執つて右間壁の能率緩緩光に乗出 る狭意を持つてぬる機械であるた所管事項も結論を見たので近く海軍さ繁糖 が球扇の動揺に及んでも巳むなしての終つたが議會も終り都内幕僚に調査させてる 凝本問題故骸底筋の燃液を見ぬ以上を棄動等あり、機働談問題に就ては登記せずに する響で陸梱さしては此の燃液は帝國策動等あり、機働談問題に就ては登記せずに する響で陸梱さしては此の燃液は帝國

學說問題の後始末

ク協費/任ヲ嶋セルノ勞ヲ 會ヲ命シ併セテ쀍等動精克 朕本日ヲ以テ管國議會ノ閉

会に於ては議會、政府の關係其他不純分子の

開僚並に黄衆剛院議長以下 閣僚議員に賜ふ



佳木斯移民座談會 團長を迎 明日の紙上より連載

尚書、フイリップス駐場大使 はサイモン外相、イーデン園園 に於けるセットラー氏の片腕リ ツベンドロップ氏、英國側から サベンドロップ氏、英國側から はサイモン外相、イーデン園園

黄郛系の新進

110750

日本各地名産

物

レッキスチ

1

ズ

本日局報を添ふ

伊藤周次郎 一章川 一章 一章

洪

麻袋(出来不申) 解散を辿る 関散を辿る 出来高二十個 段 棚敷

生徒募集

英和タイピスト學院

「規則蓄要郵券二装英

猛烈に獵官運動

于學忠勢力驅逐さる

容は明日より連続するが密を見な交へて同六時甲終り

まて能感能素後患者を強要せんさ

政局の動向に重大關係

通過各法案 公布手續了る 慰勞の午餐會

『東京二十六日登園通』 岡田首相 終つて臨時閣議 二十六日官邸で

ル敵と見 英獨會談

『ブラッセル 世五日 愛國通』 ペルード院の影響的支持により金本位制:
一下院の影響的支持により金本位制:
下院の影響的支持により金本位制:
「下院の影響的支持により金本位制:

鈔票保合 保存及補綴

口腔外科レントゲン科







过丁五街德聖市連大

滿洲國 の國際 月實施 日萬圓を計上

查

(=)

議會は無事

說

に終ったが

進化縣長改徐備艦氏の追悼式 が二十六日安東縣公署にて執行 された。 満洲建國の機性となつ て匪賊の貸めに斃れた者、日本 で更成の貸めに斃れた者、日本

殉職通化縣長

長が専ら取沙汰されたのに、

か行び、旅機二年度後 を行び、旅機二年度後

國國際調査は近き特本に於て地震に今秋電池課定の第一回の地

責任追究論を警戒

官制成る

十二月三年

意見を徴す 改良

助成金下附の

佩洲材輸入

政府は二十六日午後一時半より職につき各鵬保職館の意見を観した。職の襲脈を如何に柳郷するか老職、養職することになつた方面の注目するころであるが、。遂げたのち今後の政局不安定動策、て完膺なきまでに暴いされた現内。策略更生を謂ることが形が著るしく増大した政界不安、黎の不成立が今後の政局不安定動策。て完膺なきまでに暴騰された現内。策略更生を謂ることに政府が著るしく増大した政界不安、黎の不成立が今後の政局不安定動策。て完膺なきまでに暴騰された現内。策略更生を謂ることに政政を制力し、大き、政府に対立しめ之に政府が著るしく増大した政界不安、黎の不成立が今後の政府必要立て、規則の背景を加入し、大学、政府は関語りの態度を以て、りの手段としては極力を表現し、一十六、日教園、森に光安闘像法策並びに鎖閣院法、結果、政府は頻語りの態度を以て、りの手段としては極力を表現し、

内閣審議會で政策的更生

押切る

政府の政局對處策

機關說問題解決に

林陸相愈よ乘出す

近く陸海軍共同戰線を展開

政局動揺も犠牲

際能の非公式軍事影響官能響に於て所能

根で會見し陸梅草の共同戦艦展際につき機能し際意なき意見な変換し近日中には大角 する智で陸相さしては此の解決は帝國自

滿洲國

百三十萬三千平方

請願を採り 養された記 電子関語 家天省公司 「本別では、10世方制度改良」 「本別では、10世方制度改良」

人蔵少を補ふ意味から又日端 に黄ゼんさするものでも最近内地における権太材の 完養料さして繋来地方打電して來た (紫香料さして繋来地方打電して來た) おいっぱい 有は各種の地方制度、

の全面積

白耳義新內閣

に関する性は悪調査の結果、事質をおれた清洲國公園土地酸繊維計

五日附公報で左の如く訂正要表さて相違の點が登見されたので二十

協和會聯合會

松全省警務指導官会議は二十六日 警務指導官 一様にも気勢器はず 高問題の概象に主力株数 調

品不味

所 込 申

大阪神条(單位十銭) 寄値 引値 寄値 引値 寄値 引値 寄値 引値 月 100天 100元 月 100天 100元 月 100天 100元 月 100天 100元 月 100天 100元

を活用して資源の開拓であらう。此の好機を で活用して資源の開拓でありる。 で活用して資源の開拓であり

0 を計れ

界各國酒類 食 料品

大山通 宅 9 店

五・四三五

Joy of the Taste ランチョンチーズ

大北平二十六日養園通』沖北省談 保した結果がの降低を使つて近く ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保した結果がの降低を使つて近く ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保護を見る物で同時に中央は現在 大 ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保護を見る物である。 ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保護・大 ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保護・大 ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保護・大 ・大小平二十六日養園通』沖北省談 保護・大 ・大小平二十六日養園通

大八六四個一六銭工工三個四四銭

白木屋洋服店郷二十周年記念 大賣出 む日々賣上高 大賣出 む日々賣上高 本 五五三園四四雄 一大賣出 む日々賣上高

濟史、貨幣議 灣原論、商業 灣原論、商業 養學 選科生(生學、 生

では日満商品の輸出入を いんとする者は先づ本會の に関する理解を求むる者等 いんとする者は先づ本會の

賠償申請書

「大石橋」 日瀬合瀬瀬州棉花有脚で大石橋 別日瀬合瀬瀬州棉花有脚で大石橋 別日瀬合瀬瀬州棉花有脚

北癜師代表さ共に總局側を代一二十五日午後三計艦上及びその後の艦度につ一扇小池超客課長計艦上及びその後の艦度につ一扇小池超客課長

表して京濱線各地にて訓売

信行大將は宮内副官を聞へて二

人石橋繰棉工場

盛大なる始業式

スタートした棉花公司

門部大將

瓦房店小學校

東行 機場満立を行びたる後藤堂に於て 脱場が成を行びたる後藤堂に於て

各地學校卒業式

春の日に巣立つ子等

昭和製鋼視察

制に然らざるものの二ツの制度質制をさつて居ず滿洲國内に專

写完されて居た處であるが とて居る有機である にて居る有機である とて居る有機である 要地へ向けられたが今後織い 変された四萬擔は二十四日 送された四萬擔は二十四日 送された四萬擔は二十四日 とであるが を見る答

步を進め 奉天省に農事輔導委員會

満鮮農の福利增進

野悪酸に一般した 山探癜所に向ひ浴

の後任 吉留車務長

營口小學校

科百四十九名、歌歌科百三十三名 総覧した、尚本年度卒業生は高等 がの談響、芸西父兄代表の挨拶あり の談響、芸西父兄代表の挨拶あり が改善でき来覧一同は是童慶藝品を は一十五名、歌歌科音型と、一次に 大きない。 があり、一次に があり、一次に でいる。 があり、一次に でいる。 でいる

市長の殿静文兄總代の謝静あり閉・市長の殿静文兄總代の謝静、民政署域本校壽堂において舉行君ケ代合唱本校壽堂において舉行君ケ代合唱の容潔式は二十五日午前十時から

延吉の電話擴充

新加入者を募集

十六回卒業式は二十五日十六回卒業式は二十五日

正副會頭留任

鐵嶺商議々員會

奉天十年度公費 十萬圓增加 件數も二千件の著増

一 「安東」 回場安東の密輸風器も税」ことなく

「安東」 回場安東の密輸風器も税」ことなく

「安東」 回場では、10世界を表してある。

「大学が行はれたものご見られて居る。
「大学が行ばれたものご見られて居る。」
「大学が行ばれたものご見られて居る。」
「大学が行ばれたものご見られて居る。」
「大学が行ばれたものご見られて居る。」
「大学の野歌を来してるる。」
「大学の学校に要外観高は銀の密輸出ない。総部展の必免な努力にも描らす百、本版のである。」
「大学のである。」
「大学のでなる。」
「大学のである。」
「大学のである。」
「大学のできる。」
「大学のでなる。」
「大学のである。」
「大学の

銀朝鮮 密輸額約一千萬圓

王任は宮崎氏

六、孝子 長谷川如是開

五、易 經 山口察常

七、莊子室伏高信

八、墨子·荀子

武者小路順篤

驚~べき高額手數料

てゐるが此の ー ないまい 取 足りない打撃にとか驚らないさい 取 足りない打撃にとか驚らないさい 水脈に 一 ない 大脚に 一 ない こうない こうない こうない こうない こうない こうない こうない しょうない ちょうない しょうない しょく しょうない しょくない しょくない しょくない しょくない しょくない しょくない しょうない しょくない しょくない

日的達成不能と見られて居るは軍なる糊塗的なものでしかあい得す其の根本的なものでしかあい得す其の根本的なものとして日本政府との協定、満洲國内に於ける銀慣引上策に出ざる限りに対しる。

十、孫子·吳子 大佛 次郎

內容見本 端次第六

近思錄 飯島忠夫九、傳習錄 山田 準

・ 大、社員家族の保健に闘する事項 ・ 大、社員家族の保健に闘する事項 ・ 大、社員家族の保健に闘する事項 ・ 大、を独病愛防に闘する事項 ・ 、 作・・ 衛生學的檢査に闘する事項 ・ 十一、 衛生學的檢査に闘する事項 ・ 十二、 その他一般保健衛生に闘す

金井署長母堂『奉天』



語る。全巻書下しの大雄篇。 文壇の寵兒田中氏が平素の蘊畜を傾けて物 文壇の寵兒田中氏が平素の蘊畜を傾けて物 さって地を貫く千古の道を示す中庸。 之を 大人を でである。 子巻書下しの大雄篇。

各地 人事 各地 人事 日午前十時十分奉天最較山へ 日午前十時十分奉天最較山へ 日午前十時十分奉天最較山へ



思想の大成の上からも深き要求を縮すもので都乃が辨はれつゝあるが、漢籍音要漢籍十数を選び、斯界の名流によつて、そを接なる表現が要求されてゐる。今「漢籍の五割作化が成し得らるゝことは、漢籍言語、「漢籍に於ても

東替東京一九四七一番 人東出版十

調

鹽專賣制實施

・安東省も

目下東邊の奧地で鹽務調查開始

私鹽の横行漸く封殺

奉天の日滿間電話

医安東』鴨緑江解状によって漸く を表る十七日には間は解析[単](十 も去る十七日には機械紙[単](十 もまる十七日には機械紙[単](十 を表しつゝある、原用駅価艇 を表しつゝある、原用駅価艇

製はさにて郷蘭子に至めている。 放火掠奪の警

講堂に於て第二十五日

制・型画三月一日の三月一日の

れた、近来の海林拔艦。

漢口天津及び北平の五大都市より 開通の鎌定。

理文壇。巨匠: 久五千年。代

交

HOE E

語記本本

によて

特色

老狐が勢に現れていま奉天敵地地

政治理局では

職堂に於て多數來賓交兄参列の業式は二十五日午前十時より同

[撫順] 東七條小學校第三回卒業

五月初め直通連絡

ブルは略々完了

交換臺も近く増設

『春天』ジャズで踊り、

警察式の壁頭は月十株近くに及ん

店に彼女に變遷の哀れ 、凋落の風

(本天) 満洲國警察官の制設総督 の服装吹蓋については過紀來段歌 の服装吹蓋については過紀來段歌 があって飲意者完中であったが 東天省公署へ入報があった、右軍天省公署へ入報があった、右

金星の肩章つき 滿洲國警官の制服改正

を記述を をでは、 ででは、 ででは、

鞍山地方委員會 事 ◆七田禮氏(奉天徽道事務所車務 長)同北行あじあにて奉天着任 長)同北行あじあにて奉天着任 大田禮氏(横洲國官吏)同上 本華 本華 本中意陽地方事務所長 になで赴連ニナン奉天裁簿領 なとで赴連ニナン。 はとで赴連ニナン。

田麻すること等に動し協議した 出席すること等に動し協議した要手 の報告並に同會代表者として では、一般では、一般では、一十五日 のでは、一般では、一十五日 のでは、一般では、一十五日 のでは、一般では、一十五日 のでは、一般では、一十五日 のでは、一十五日 のでは、一十

大連稅關辦事

の全筋が多かったが、今度はう たて全筋が減され、従来の中う たて全筋が減され、従来の中う たの最高の警正は従来全筋 が、大二本へ一本の三本であったも のが、大二本へ一本の三本であったも

根本對策講ぜぬ限り取締不能 ででは、 でいる。 るる。 では、 でいる。 るる。 でいる。 るる。 でいる。 るる。 でいる。 るる。 でいる。 るる。 でいる。 るる。 でいる。 のでは、 でいる。 のでは、 でいる。 のでは、 でいる。 のでは、 でいる。 のでは、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 和十年度繁繁の編成に酷り本年度・ 十年度豫算 タンプを持続。 なるので二十八元で勝け出し継続したされてお話りの徴男器女で大艇びったなかおいてになった。 たこお話りの後男器女で大艇びった かるご野せる酸その狐が縛られているから なので、その日本人の處に行つて かので、その日本人の處に行つて 南京交通部新計畫の國際無線電 寒心三月二十五日午後六時日流官 成三十餘名な女化物学に将徐殿本 成三十餘名な女化物学に将徐殿本 で 現三十餘名な女化物学に将徐殿本 で 現三十餘名な女化物学に将徐殿本 で 現三十餘名な女化物学に将徐殿本 で はいっく も 午後九 に いっと しゅうしゅう 所取扱事項滿鐵撫順保健 順保健所で改名左の業務を取扱査所は三月十日附たもつて流鐵

一、漢籍を語る一、漢籍を語る

此の豪華陣

三、孟子·孝經

內野台嶺

一、論語・大學・中庸

四、詩 經 佐藤春夫

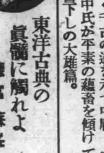
下水道及井水の衞生的政善街淸掃に關する事項

遍及鑛山の衞生に關す

宮蟾林三氏が低命された 線各小學校に榮轉する諸先生衰別小學校同窓會では四月一日附で沿小學校同窓會では四月一日附で沿

◆ 中込 ★ 切四月十日 ◆ 中込 ★ 切四月十日

第一回配本開始 全國書店にあり 田中貢太郎著堂々六百頁



同南行あじあにて奉(満鎌總裁)同日西

下の海来朝は目前に迫り、支那古寿愛好の摩は朝野に使つてる 供然大反響 く揚げられ、淅洲國皇帝

の家庭に

おける

訓練について(領主)

側に見てゐたりするさ、ざうとて タ方になって、彼等の最も続む 又入舎時刻に見馴れない人が來て 水だけは奥へておきます。(但と 又入舎時刻に見馴れない人が來て 水だけは奥へておきます。(但と 又大舎時刻に見馴れない人が來て 水だけは奥へておきます。(但と

言う とう

(但した)日

脚育することは華融と思います。 時にしても未継轍の方は親嶋を

物で然らば

法上如何なる階段を踏むべ

ある。通志に鑑に似て大首。 を、設ま一米中に達する。 を、記ま一米中に達する。

でもありますので、いない能をさるでもありますので、いいので、いいないになって、いいないになって、いいのではなっていますので、いいのではないではないではないではないできない。

滿洲

次水魚譜

▲第五に年齢の名き程新場舎新 ●主に馴れわい……随つて脈蜒が を易であります。故に前にも聴上 を動であります。故に前にも聴上 を動であります。故に前にも聴上 を動であります。故に前にも聴上 を動であります。故に前にも聴上 を動であります。故に前にも聴上 を動であります。故に前にも聴上

北の風、曇り、雨標準れの風、曇り、雨標準

聯盟幹事照

吉

と訓

対に差がべ、燃く日能を吹きつ、が方になって、後等の最も揺む臓の質さか型彩を手に持つて場に削

を なん。城で 概はそれによって一番 手を急に引込めたりもてはいけも

そのままじつさ待つてゐるのです

がいて、 をは大いに乗りますから以下は著 さは大いに乗りますから以下は著

して時々これた縁返

、鳥蘇里江、黒龍江)など

道

00

要合は一度膨脂織に繁艶神ないた歳で普通に軽いても何さなく際りた成で普通に軽いても何さなく際りた。この手盤は他のです。この手盤は他のです。この手盤は他級なつけ、

Ē

\$8

のて次のやうな方法がかなり有方法だけでは、どうにもならな

電氣遊園

連鎖街

連鎖

ス

よい季節ごなりました

知識

お求めの時の注意

次のやうな影像知識は持つてゐな」す。反りは木の性質によつて來るた。ラケットをお求めの時は大體」つてゐる織りのよいものな選びまローン・テニスの季節さなりまし、れちれのないここを調べ木目の遜

これは一寸電氣の知識のある人なで無管電流の侵入を焼きました。

福一

ラヂ 音 才 人する

まづ雜音發生の原因を確め 『乳 の張り方を工夫

ん。ラデオの雑音防止法は様々紹介されてはあますが多く電 無技術的方法によってゐるので<u>専門的になり過ぎ</u>っす素人に ラデオな聞く時に雑音の混入する位不愉快なここはありませ 手が出ないのが普通です。そこで素人で簡単に出來るのに案

を除くて共に受信機の電燈線に要 りイルターを挿入し、雑音の数生 の電景線に搭載する部分に此の が出入を喰い止めてねました。 総音の態度な出来るだけ小さくし を発音である場合であるだけ小さくし の雑音が止波は大概になって来ます。先づアンテナか へばラデオレーヤー、電線接続の出入を喰び止めてゐました。 外氣が附かないでゐる難皆防止法をご紹介しませう。 合にはアンテナな其處から遠ざけ、雑音酸生地が分つてゐる場

を軍人は外國の婦人と結婚で い此の間/わがチュウュウな #80 B 又しても最近次のやうなアス 毛断ガール 結婚禁止令

えあつて近く /新生活運動舗

いふのです。しから、この

り数髪(毛筋)又は透髪(ウエーヴかした髪のこさで ウエーヴかした髪のこさで す)の女性さは結婚しては ならない

えんかけて置け

あるさうです。その禁止会さ

学

・ガール種屋を憤慨させて

で、これな参考に先づ総書数生の で、これな参考に先づ総書数生の 何れ

廢家問庭 肥える方法

便通一日二回。病氣した事

乳一日一合ミワカモトでなのんで 規則正しくする重

生活構成を規則正しては第

を する。 実施でしては、就機のみなられる。 又食師でしては脂肪の多さものその他の栄養をより、 大切でに咀嚼をよくするここが大切でに咀嚼をよくするここが大切でに咀嚼をよくするここが大切では、 実施では、 大切では、 大りでは、 大りでは 在射等ありますが急になってはい

ます。低通は毎日有る方がよく察の上でないさお答へ出来をは診断兵撤亡に合格するや否やは診断兵撤亡のというなどのという。 一般り便秘する時には

ものですが、求める時反りや

ト の物がには

一様のが牛の臓・乾疹のは鯨の筋で と容易に直らないものですから最 か 形撃です。ガットは硬

いのないものが良いので大いならなりの上下があります。彩の色がなりの上下があります。彩の色が

日の電力を用ひて汁の中にされた という果汁の中に微量の銀を注入し た、帯が、リンゴの汁には特によれ、帯が、リンゴの汁には特によれると離らのさいふ新薬を得 果汁の腐らぬ新案

で がのならシープ・

本は的で、支那は悪に、質力の比較に勝たうさして自分の眼を自分の、大変那側質力を描らず、むやみた、支那側質力を描らず、むやみた。大変那側質力を描らず、むやみた。大変形側質力を描らず、むやみないが、大変形側質力を描らず、むやみないが、大変形側質力を描らず、むやみないが、下手な基案のやることを 獅子の鈴を解くものは鈴か 或る宴會で此問題が出た

でて出く、瞬間共に艦を以て関を なっからので、 化問題に就て 職 (株) の間柄だ、著は棚飯め、過は 継が続けたか、継が解くの

らぬ、隣國の間平等なるべ とめればならぬ、災を幸さ

- 王揖唐氏の著書を讀みて 紀

◆日 支 關 伾 五

朝東風吹るや北端にな 風晴れて雲崩

課題 - 東風・猫の戀・雪崩

レヴュウ

まざくで山雲扇見る流車の窓トンネルを出てゝ小膝や雪崩するトンネルを出てゝ小膝や雪崩する扇、中田三千穂扇、小膝や雪崩する東風吹くや北端に入り込む苦力速東風吹くや北端に入り込む苦力速乗風吹くや北端に入り込む苦力速乗風吹くや北端に入り込む苦力速乗風吹くや北端に入り込む苦力速乗風吹くや北端に入り込む苦力速を大きる。

する學生群

坪内逍遙

上性下御聖徳録(帝 教育會編)田中光顯氏監修 「教方會編)四中光顯氏監修 「対かち御幼少時代、聖智院 「以かち御幼少時代、聖智院 「中か、独郎佐御書時の御動

0

苦むせる思見の墓の石だたみ春もかかりのゆうち、さず さ博多の海のひろごりて見ゆ

團行旅學修女高生彌連大 不同關



形よき松の極より青

能當日

日 **難圖史記** 長室村德

質せしむべきだ、食管汚更があつ 気が出来る、支那の いまに、園既な指導して関カな死 がまに、園既な指導して関カな死 四月特別号麟五十美東 文藝春秋社

田谷寺馬川井岩 河藤見 口柳城 川 井澤 九健哀邊 昌時健御欣克 三銀三萬次草 植雨吉風一之淨冽祿策郎一郎果元造宣德

をいます。 をいまして、 をいまして、 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれてある。 をはれる。 ではれないにいない。 ではれないにいない。 ではれないにいない。 ではれないにいない。 ではれないにいない。 ではれないにいない。 ではれない。 ではれなる。 ではれない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではないない。 ではないない。 ではない。 ではないない。 ではない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではないない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではないない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではないない。 ではない。 ではないない。 を ら中支那にかけては、興館を難子 脫盟聯 満洲 國を語る 0 芳澤謙吉

明暗泛友绿点間

校長評論

觀玉 春筑

阿齋

美濃部騒動。表裏城市 外・漱石と私の家

からての美濃部達吉博士教育

海嘯等総理大臣恒吾場の馬場

私の好きないまかり春歌・水穂一歌・夕春

郎文學ザックバラ 文壇スキー 珍話岩城 社文

會

春

敗将ヴエネゼロス 會記

德田秋聲

高野六郎

來る卅

-- [10] -

そらッ

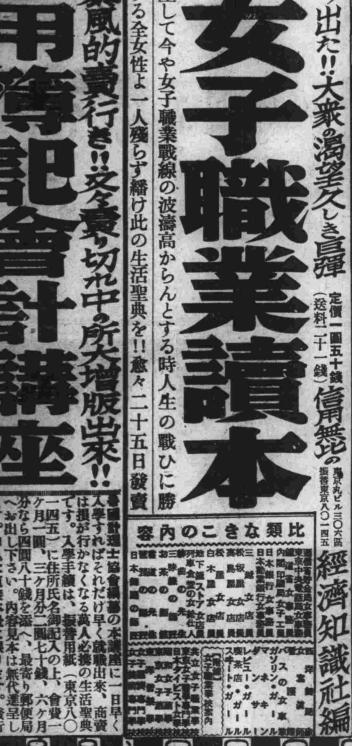
同會所屬選士二十餘名及びラマ

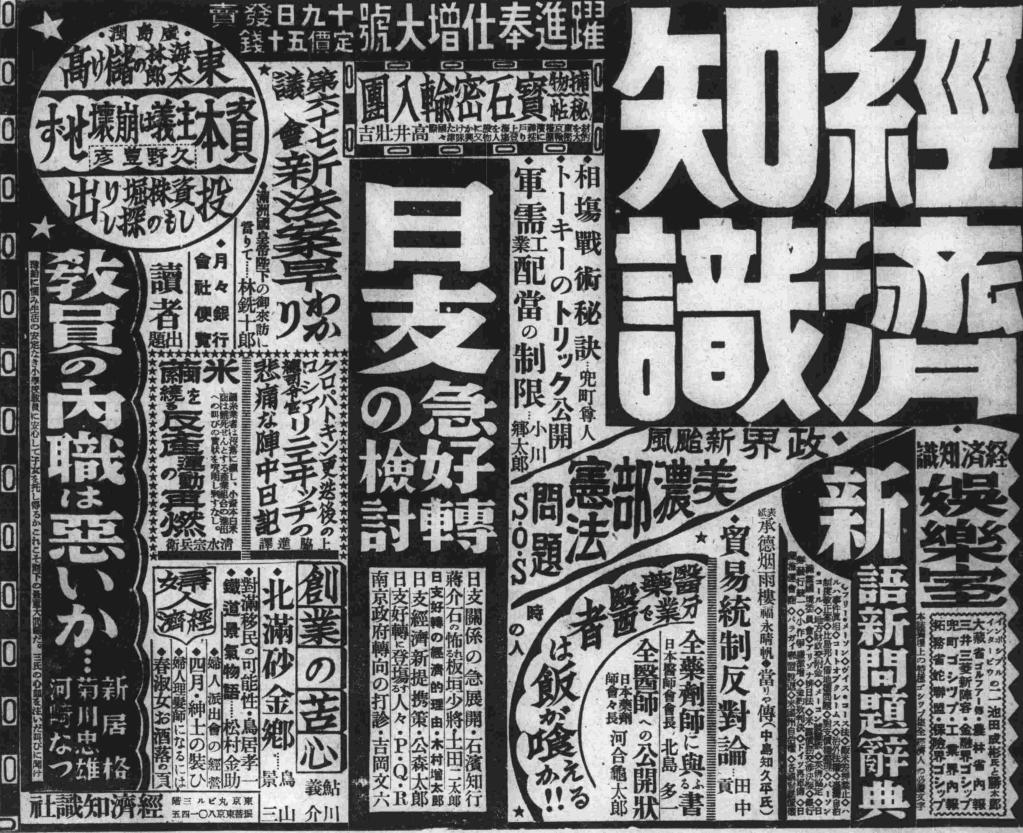
新京百キロ

环(世局)

特遇高段新

人残らずる









それが見る市甘井子を流へつれの記者のベンは、 の連續にあきた心意 浴日ケ丘の陽に

法伐の牧歌高らか!

歳クドロ棚ぐもり夕の前奏で の御塾な土の肌にみせ、強る の御塾な土の肌にみせ、強る

鳥の飛び瞬と様子でもなも

見され交通警察上重大問題さし、施行中の不時車機械者によって

開心を吹んでゐる

日

は「檢査濟」の札を

て経然な粋を野野時代を大多の野群小タクシーでは、大タク野群小タクシーでは

料金であり

清洲國皇帝の御召艦比較は二十九 の様 **要港部公表** が、二十六日旅のため左の如く

威謝の記念楯

敗はれた早隆丸船主から

安用夜近 関連の管は機的全數睡眼 もで書稿だる。 もで書稿だる。 治・観兵告一治根間中が る軽出等全見。 ・権の治上!本で使

止一ケ月を求刑した、言渡しば來さ痛烈な論告をなる、影務執行体

良種苗の御用

兩救助艦に贈る

節司令長官宛郷重なる挨拶狀を

まるで弊佛

手嚴しい街頭檢査に不合格續出の大連

お花見どきが心配

開西支部發會

寄せて來た(葛眞は記念楯) 水曲柳に匪襲

記念講演

療器

触入され聯合艦隊に所屬する 共に四月一日より第九驅逐隊 艦は目下舞鶴で艤装中の夕暮

またー

ツふえた

みや

本日限

御進物用

風流籠入--折入各種

クレーブンA

(黒猫タパコ)

十本人

五

英國高級タバコ

御上品にして御客席用に

第生高女生 【東京特徴 東京の動静 サ六日級】 東京の動静 サ六日級】 東京の動静 サ六日級】

けふのメモ

帝

國

の毒な問題

姓にも父

の惱

に投書が舞ひ込む。 に投書が舞ひ込む。

大の子ならばいざ知らず、乞食

は一個では、 はい概念わけには行かない…… はい概念わけには行かない…… をすがの谷口保安主任もうづ高 を確まれた投書の山を眺めなが

潤田要港部司令官、百武第三一『大阪特電二十六日経』満洲國皇」さなつた、一般會長 者は閉 中等學校の轉入學者に気 D

あるのは周知のこまだ

· 名、四年級十五名、字校 二年級十五名、

園兒

を蝕む

總數十名

八争奪に 十三世闘根氏の退位決り グ戦 恐ろ

将棋リー

選手權制確立さる

ハ十名の希望者の中に

い虎眼

三分一はこの患者

それさっなくなれば來て戴くつ を患者の方も手閣して傳染のお

さ、よく(一会食の生器につき は、よく(一会食の生器につき とこの頭部を歩いてるてを食に出くわすと離砂が離まるやうな無がする、この間から織けて三年がする。この間から織けて三年がする。この間から織けて三年がある。 四年級一名 右の 中何れも収容される 一年級一名 人質に四名が至十名、除の者は原 二年級十二 各學後長さもこれが劉策に就き腐 心してゐる

ので春の街に



婦

眼鏡は 専門店満眼堂で をはごないら親力検査を なる時期でございます。 特に御途級、御入學の単 像には是非正確なる眼鏡 を向には是非正確なる眼鏡 を向には是非正確なる眼鏡 を加速方となった。 を記述が、御入學の単 をには是非正確なる眼鏡 を加速方となった。 を加速方となった。 を加速方となった。 をである。 をでる。 をである。 をでする。 をである。 をでする。 をである。 をでする。 をでなる。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでる。 をでなる。 をでなる。 をでする。 をでする。 をでする。 をでなる。 をでなる。 をでなる。 をでな。 をでなる。 をでなな。 を 各眼科醫院御指定眼鏡調製

從業員の苦心は想像以上

なく

四行初發車試乘記

急速に水るからされい

非常 な元氣で 大童の中にも

調がいるは、電級金線の指揮監督に ませ完全に日本村さ化した、瞬前 ませ完全に日本村さ化した、瞬前

三月廿四日より b 關東歐購買組合傳

期日 同 ジヤジブラウス數十種・同男女兒服・セーラ服婦人用新型スプリングコート・最新スーツ・スカート 服 陳

會

て降つてゐるのか見るさその苦心でさるな様なかつた、野務院も登

收接の鐵北 どおのび歡

園兒募集

をどうぞ一度は…………をどうだ一度は…………

河

一、演の起作れ 太平洋だよ なびく同国の電艦かく 麻造日本の意識もめせ いていている演奏 過土の月もよ



生理的作用を發揮し体質を強化する。数に 情化蛋白アミノ酸の綜合劑である。從つて である。從つて要素されて無数されて無数されて無数されて無数されて無数されて無数がある。 **すべき補血榮養强壯劑である。** 地震店にあり 美容科學の提唱する所である。

ば焼

戸

河

河

皮膚の健康は美容の第一條件であつで、よ と一、肥り或は色艷の悪い女性は先づ榮養 と、一、肥り或は色艷の悪い女性は先づ榮養 色素をつくるトリプトファンや女性美ご密 を表なる関係をもつホルモンをつくるアミノ 接なる関係をもつホルモンをつくるアミノ

の分泌をたかめ、食慾を催進し、消ミノ酸は胃膓細胞を賦活して、消 ンの應用は有要な食慾増進法であれると云つた病弱女性に對し、ポリ 丈夫にするものである。 0 0

造製 米日

て、体成分となるからで

で、体成分となるからである。要せず、そのま」ムダなく吸收 或は産後や手術後に衰弱を

賣發菱三

0

「冷え性」には婦人病や肺尖カタルに因るものと、單に榮養不良に因るものと、 がリタミンには造血アミノ酸(トリブ トフアン)が多量に含まれてゐて優れ トフアン)が多量に含まれてゐて優れ た補血榮養作用が發揮される。 冷 え性・ 場合

0

(N)

(36)

35-358(0)

にたい歯. 痛頭

御履物は

皆様の

淋 C適應症〕急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・消渇等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず淋菌を滅殺し尿を清澄ならしむ。持續服用 陸軍藥局方收載 **查合藥製才木 元页登造**

最は學童の大敵のピマクニン雑雑さ

新治療剤 京都帝国大李 教授 医李 辻 寬治先生創製

病病

息

河 を含せ丸様 を含せ丸様 再 河



腎臓病 上 電 不 毛 田本橋粂号

不死身だね すぐ効くつてね ったわね まだ 感じないの 全國各地藥局藥店にあり

所究研學化醫獨日 舖本

電話(一)四四九九五 日本海越

朝鲜 野船 出快

一 阿波共同汽船 山縣通 電話思文公1•22 2001番 大川石(共同丸) 二月廿七日 大川石(共同丸) 二月廿七日 大川石(共同丸) 二月廿七日 千後七時 大川石(共同丸) 二月廿七日 千後七時 七川石(共同丸) 二月廿七日 千後七時 七川石(共同丸) 二月廿七日 千後七時 七川銀南浦石(長山丸) 二月廿八日 十十八日 . 盆 島谷汽船

代理店山下汽船支达運賃橫濱行上等三二 電罐支援 機應行 高雄丸 (橫應養 高雄丸) (橫應養

代理店 大阪商船大連支 青島上海行(嵩山丸 四月 六

日清汽船速出帆 話本社2三三三音妻橋2只O三支店專鵬荷扱 國際運輸株式會社

四月十八日

大道21三、新京三六、奉天四2門司、神戸(大阪)行午前十時出版 門司、神戸(大阪)行午前十時出版 三月廿七日 「三月廿七日」 「三月廿七日」 「三月廿七日」 四大阪商船出帜

できし覧現されないのでは、か通過したさはいへ政策

、 (特第二號) 昭和十年度各特別會計處入歲出業算追加家別會計處入歲出業算追加家別。 ・ (追第一號) 業第外國庫の資 ・ (特第二號) 昭和十年度各特

法律案(衆議院

號)昭和十年度歲入歲

北鐵經營による

機構變革なり

八田滿鐵副總裁談

ふ貴族院で閉院式

の重要法案多數

期は二十五日を以て満了、食駒や延製の趣き上奏二十六日午前十一時贄族院に於て馬院式を撃行逃すべき記二十五日夜順出された東の政際は政府にさり頗る塗蔵すべき懐勢さなり頭に何等かの異變を氣構へてある悪行である。斯くて繁六十七通常議會の食べ、方は貴族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢惡化し態。通過の見込みなく之に蹶歌が、方は貴族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢惡化し態。通過の見込みなく之に蹶歌が、方は貴族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢惡化し態。通過の見込みなく之に蹶歌が貴族院が米穀法案の衆議院修正を認め成立の豫定が急に形勢惡化し態。通過の見込みなく之に蹶歌が貴族院の惨勢につき惨戦を持つり意見を突換した。東京特電二十五日發』愈駒延製問題に點し政府は二十五日の國時閣談で貴業神院の惨勢につき惨戦を持つり意見を突換した

政府部内に動揺の兆

農相の態度注目さる

一、昭和十年度一般會計談出の財 派に充つる為公債第二次追加资 源に充つる為公債第二次追加资 かいて日程を追加し

##に | 日程が追加し | 日程が追加し | 日程が追加し | 日程が追加し | 日程が追加し | 日程が高端を関する法律案 | 一、昭和十年度会特別會計蔵入版 | 一、昭和十年度会特別會計蔵入版 | 一、昭和十年度会特別會計蔵入版 | 一、昭和十年度成入蔵出標築第追 | 一、昭和十年度の動議の | 一、昭和十年度の | 一、昭和十年度の | 一、日程が高端では、「一、日本の情報である。」 | 一、日本の情報である。 | 一、日本の情報を表しまする。 | 一、日本の情報である。 | 一、日本の情報である。 | 日本の情報である。 |

大演習

た林線滅は西脇秘書役を伴び二十北嶽接取に南嶽を代表して列席し

安東圖們橋梁架設費

東邊道々路改修費

000,011111 西三000

收益五分は確實

北鐵經營で公債利子等の支辨

林滿鐵總裁歸連談

撥入減债基金特別合計

陸軍省公表

野田氏、政府を論難す

一度特別大演習時日に一日後國通』陸軍省公 一奏御裁可あらせら

松岡洋市氏は二十五 一日迄演習實施、十一月九日より

「一年後一時中省列車で家族同伴 「木斯支店へ轉動さなり二十五 「中後一時中省列車で家族同伴 看はさにて來連
へ鐵路總局次長)

午

田尻に直行月末まで

曲は無いわけてあ 長同上 家にあらつしやるで しあつてゐるのよし



鑑。定 運 命 「わたも何んにも喰べた 「あんた、顔かやつれたのれ。可 「さう。あたしはコーヒーに燃桃 上に類状なついて、明子ななが注文が終るさ、館子はテエブル 側なんかやつれたつて機はない

この調子で解決せん ステルマツフ領事の挨拶

北鐵塔牧も事なく残んだ二十四日一に降り積むこと民餘に及び回場の「級芬河にて廿五日和氣特派員發」の級芬河には夕敷から春の雪崩り

國際運輸の手で

■に紫鬱した、配して躯性観表さ 千萬回、膨射業者への制管一千萬

出の内土なるもの左の加まれた、○○○回訳上連続出中趣辞録所管の振いでの振りをの振いでの振りをの振りをの振りをの振りをの振りをいる。

豫約申込み約六倍

主景新低特務機關最

なら株の数に浴する の南東司令官に動する御り気に の南東司令官に動する御り気に を行にて再び新京に赴き流洲國皇 の南東司令官に動する御り気に 元年度最後の 追加豫算 國務院會議通過

の経えざない。本語の神であるから知れない。本語の神であるから知れば議会では歌曲ださあって必要がない。本とをを表して、一方のでがない。本とを表して、一方のであるから知れない。本とのでは、一方のでがない。本とのでは、一方のでは

「驟で電話なかけでゐるの。驟に つたぼり、新俗で電話をかけてる「いゝえ、いま小花川の観灯に行 まつてあてよ。こくまでいちつし 「わたしあんたに行って達ふわ。

さして海まなかつたと思ってあて と。田日まで送つて頂き、またそと。田日まで送つて頂き、またそとないでは、またそ った。明子はふつさ何か線が暗くつさ、明子はふつさ何か線が暗くつまる思ひがした。 「あんた、何喰べる?」 「あんた、何喰べる?」 人は人ごみなかきわけながら

家の界世 麗らかな

日支提 台使・汪氏と會見 を協議

京に越くここでなつた。此の會見「行ふ窓であつて、其の総製同公使」は汪精衛氏と會見のため廿七日南「惟及び借款問題等について協議を」ため歸朝する豫定である「上海特體二十五日藝」有古公使」に於いて日支張振其徴化の根本繋」は四月中旬出登殿田外根に報告の

藤正純氏 (政) 赞一 で讃み上げ決議を附 備金並に内閣密議の後始末さし 施に當っては附帶

間に獣し誹謗を述べ同 次定をみるこさいな 十年度追加豫算は 取扱局增設

日發國通》第六十七 最悪の場合も

一、利撓期 四月二十五日 十月 完濟 北溝織道の財産及收入金支捕場所、興銀支店

申込證據金 船面百圓に就き 込期間 四月八日より十日

、北線では背線主要地約二十ケ、北線では背線進展にその取扱な を地の北線側公衆加入電話は速 かに電々の電話局に收容替する かに電々の電話局に収容替する こさゝもその他各地の公衆加入 電話は暫時線道局にその取扱な 要託も特殊整理する 要託し将來整理する 要託し将來整理する 要託し

もつて進まうつて、エートのけないことよ」

ろなのし 「あち、明子さん?わたしあんた るかしてみようさ想つてるたさこ

電話のなかの街子は、なかなか 「何か御用だつた?」

マうな顔ならて毎日坐つて**ゐるの**

よ。すつかりおかたづきになつた んたもなるたけ元績であなくつち 今でも惟んでゐるのよ、続も、菅 て、子供らしく語 滑つて行つたつて」 柳さんも云つてたわ。あんたはほよ」 「ほんさ。夢ぢやないかさいつも でれ。泣けてきていけないの」 でも父のここは謎さない 「れ、あんた、まだ夢のやうな氣 しやるでしょし

愛戀十字街

淺 原 六 (21)

いか遊を観察と銀子は残いてき 第子の家は、自らなので、二十 第子の家は、自らなので、二十 **倘本八百二繪**

現實と花(こ)



展 へいルビン特電二十五日戦、 ・ 日本観光のトップを切つて在ハル ・ 日本観光のトップを切つて在ハル

長田中宗一郎氏引率の下に午前で、哈爾濱スコエウレミヤ編輯

品

白衣の凱旋

送一一、八八〇題に獣心一八、八

り連絡中梱その他計三、七〇一地を差引き残骸六、二七六糎さ

人貨物の僅か一割

入鐵管爆發

損害約二萬圓に達す

昭和製鋼所の

二十八日着連 助川中尉以下

因發表さる 發火 て思ひ鰺つて職ひ出たものである「鬼子に押しかけて復総を選るの「鬼子に押しかけて復総を選るの「鬼子」といって、

配では二十五日左の 関に関し滿洲國家 26日北京歌

電話(3)三四へ四番 強 鎖 街 バス 隣 阿部、幾子の四署最は二十署長招待宴、久下溜、

> 顧問射殺さる 朝鮮居留民會

> > 毎日のお食膳に

近代感覺が火花になつて燃え上る

一年一度若き春に唇づき

大学 の、厚き二分、延長約 では、本場を近近する大変 では、本場を近近する大変 では、本場を変が二十四日 では、木場を返答が二十四日 では、木場を返答が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日 が、木場を変が二十四日

は、 に上海二十五日養園通 前上海朝 が人会融管長現無総店部民会服師 李続(などは今朝八時管地秋思威路 の自宅に於て闖入せる朝鮮人経漢 の自宅に於て闖入せる朝鮮人経漢 である場め射響された

五十名人質に

村落を焼拂ふ

因藤選手の 奇 語學校卒業式

がその損害二萬國された、販

共產匪

陸海軍志願

人無者シ

二十五日午後大連運動場に於て行はれた清無消費組合財南清電氣ラはれた清無消費組合財南清電氣ラは、試合中職方選手を衝突して轉興、試合中職方選手を衝突して轉興、試合中職方選手を衝突して轉興、試合中職方選手と衝突して特別、監督、大学展院に擔ぎ込まれ続い。 武合中轉倒し

軍手軍足卸賣

鐵道

学立創 在所 集募生 大 正 大 五九町伊紀市連大 番六七九八・=話館

郵券二錢對入申込の事 四月十日

滿洲法政 學 院

大學資格 (日満人を不問)につき経版 の上入學を許す(女子の特別 の主入學を許す(女子の特別

民第一の讃楽師 キツスウオルツ、ボレロ、ニナローザ ーホスング

今晩限り

第三回

春のおどり

不意の御來客に 0 御相談に應じます

作話(2)大五四四番

八

传山田田賀藤城木林井田中井上泉 (清 費) 「清 B B

 $23\left\{\begin{array}{cc} 1 & 0 - 5 \\ 1 & 3 - 0 \end{array}\right\}5$ マヨネーズ

織けつゝ此

キュービー

0

本 H を始め 至

何卒御下 命の程

滿電先づ勝 消費組合 2 - \Leftrightarrow

0

の友邦暹羅

布、網布、総製品等においては量さのパランスがされてゐるが

花の日本からこちらの花へ

、藝術使節

五月・嬉しい訪れ

本を訪問するこさになり、一行は 一十二日バタピア丸で繋谷を出簽 目下 日本

の手續なさるここになって、南議では滿遍

羽左衞門

滿洲

十八番物を揃へて大名題の初お目 見得

六月ごろ來連ば

八番ものゝみを持つて行く客で、行し勢っている部選手が見たい。支治店等羽左衛門の十一の各部選手がしているがはお一際上、挑戦を

門は四月十日歌舞伎座における『東京特體二十五日襲』市村羽左

北鐵接收後の

訪日觀光團

よりも阿片 愛想をつかした女か

交驩競技選手 けふ勇躍渡日

見る角歌舞伎大幹部の鴻洲國巡案

遭遇、大激

の共匪と

モビを密査 原籍鹿見島 二八八無職肱岡高業 (三九) は数 日前旅順に来り満人間にモヒ密質 中を發見され目下取調ベ中

十倍に餘る敵を迎へて

滿洲國軍苦戰中

く道ふ美観の男、市内鳴嶋蓋十一なった吉行祭江(二四)は足繁だった吉行祭江(二四)は足繁にの私放さして相當實れつ放 論願ひ

ルジラか別れさせて下さい/c大阿片に溺れる 夫に愛想を盡かし

を多く持てる調で、株にサラリーマンの多い満洲では一般に大戦迎を受けるだらうが、満洲の持つ郷でも大変上の特殊性でどの程度迄合数するかが問題、だが満郷濃りでも大変中年は鬱成の意味を有してゐる機構だから、或は慣現な見るかも、 がはいさ事様してゐる時も根に ◆…いづれにしてもこれが変施

社交ダンス個人教授

そは

機大阪歸着『大阪 いいとうできるところでは、これのころのは、

感よ實施を請願 職役員會で可決され

ではこうだりま

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

常新着欧州致しました。時はうちゝか騒音る頃に中年常常な神経のバラッル。此のたび全春流行のものとみ蠼 大連連鎖街









連するのは奉天各小學校より選

日

浦菊

。この處女のやうな職のどこ。 範裏はやはらかい眼さしな向。

壇の浦な墓場さした平家の一族

御弟子の端

(163)

花治

段音樂(系)佐

明は書間、縦髪の縁義を翻い透の夜がたりは癒きない。

を 動で、木管観解に観らて、兵を 動で、木管観解に観らて、兵を

一蔵の修徒さなり、性難坊に難し田も、さうして、文の日からは、

よんで、他く身になった。

満種勢の跡々たる偉

さ開館して氣を吐いた快男兒童

廿五日大劇開演

▲菅原四段目(前)白水へ糸)旭時

人阪娘文樂

治兵衛内の段を若(系)

が口養陽氏が

慣ひさして、生き得る限りは何度ひさして、生き得る限りは何

ピクター洋盤

て、社会の表からその数な失つてくまに帷幕の人々さ共に馴滅され

学樂ではう 明にロシアの民間を 調の唄」の二曲だ、腰のた處で はベルリン放送界で活職してゐ るコルニスがソプラノで「舞踊 への勧誘」さショメンの「マグ か」さ言つたやうな巻樂曲を である。これは注目に價し

奉天白虹童謠會

來る三十日來連

協和會館に於て晝夜二回

本格的兒童舞踊公演

獨特の大 この料金 見よ…此の映畵

ミ愛の萬廿員業從道鐵 作名く描を活生の牲犧



キかミハ節用に 此の白 所集書博下森・館本丹仁粒小の森

現代喜 七日 (二)日間) 聯 帝國館

特の路

1

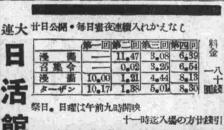
●テイコクカン●

面壁九年時歌

120

のんでりゃ苦合なし

三五九七九番之動具店





て左配の如く値段改定仕り候 何卒御鯨承倍舊の御引立の程順上度此段 諸物價の高騰に依り其の筋の御認可を得 牛乳値段改定能謹告 全乳 1合日村

大連牛 金八

乳營業組

力

毛糸·服地·婦人服 大安實提供品 九三五年春の流行品ばかりです 花の春の御裝砂の御準備は是非只今以

運動 9 貝は 力魅。春

アリラン夜曲 容姿すみれ娘 といく 関なりズム 題り 五三三十三 四 値段の廉いのさ 渡 邊 家 は 女

春の 東京港ま F N - OH OR F N

り「簡単な手のうちにお祭の期かな最分を総込んだ面白い」

管頭界の最高峰が関勝太郎三島一堂一會心の吹込

香號五三三八三

原 田 商 會

釀造元

庵堂 電四・九四七八 聖徳街亭里三五

賜

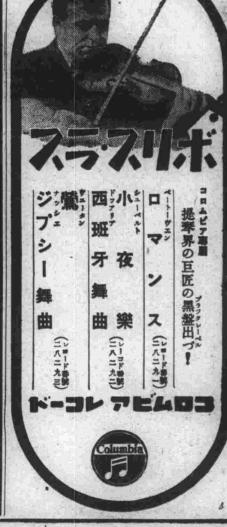
連續榮譽

於今春三月上

八日關東州清酒品評會

賞

金牌受領







....

び及店藥名有地谷 す賣販にトーバデ